

2022年10月27日

各位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証グロース:4316)
問合せ先:取締役経営管理部長 大谷 英也
(電話03-5297-2181)

早稲田大学らの共創型デジタルツインの研究に Terragraph が貢献

～ Beyond 5G のベンチマークとして注目されるミリ波高速無線アクセス技術 Terragraph ～

株式会社ビーマップ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:杉野文則)は、早稲田大学を代表とする研究チーム(以下、早稲田大学研究チーム)による共創型デジタルツインの研究活動^{*1}に技術協力します。

当社は、2022年1月より三井不動産の屋外ロボット開発検証拠点「KOIL MOBILITY FIELD」に、国内初の Terragraph^{*2}実験設備「ミリ波ラボ@柏の葉」^{*3}を開設しています。これまで、Terragraph のネットワークインフラを使い、KOIL MOBILITY FIELD の利用者に対しインターネット接続や、屋外無線 LAN、多視点カメラ映像などのサービスを提供してきました。

今回は、早稲田大学研究チームが KOIL MOBILITY FIELD において実施する先進的なデジタルツインの研究活動において、ミリ波ラボ@柏の葉の Terragraph ネットワークインフラを提供します。同研究は、将来 Beyond 5G が実現した際に、都市の様々なリアルタイム情報を収集するための、新たなネットワーク技術とデータ管理技術を確立することを目指しています。しかし、現時点において Beyond 5G は研究段階にあるため、Beyond 5G として確立された技術は存在しません。また、Beyond 5G においては、テラヘルツ波などの未踏の周波数領域の活用や、国際標準の推進などが必要とされています。そこで、同チームは Beyond 5G に対するベンチマークとして、テラヘルツ波に特性が近い 60GHz 帯ミリ波を使用し、Meta がオープンソースとして国際的に標準化を推進する Terragraph を同実験におけるネットワークインフラのひとつとして採用しました。また、60GHz は免許不要で利用できるアンライセンズバンドであり、場所の制約を受けないため、現時点においても実際のフィールドで様々な実験が可能となります。

当社は、Terragraph の実験設備において、早稲田大学研究チームに先進的なネットワーク技術を提供することで、彼らの研究活動に貢献するとともに、Beyond 5G 世代において必要となる要素技術を共に模索し、将来的に Terragraph に求められる技術を見極めたいと考えています。

*1) 早稲田大学らが実施する研究プロジェクトの詳細

早稲田大学ホームページ/トピック

<https://www.waseda.jp/top/news/83150>

*2) Terragraph 製品情報

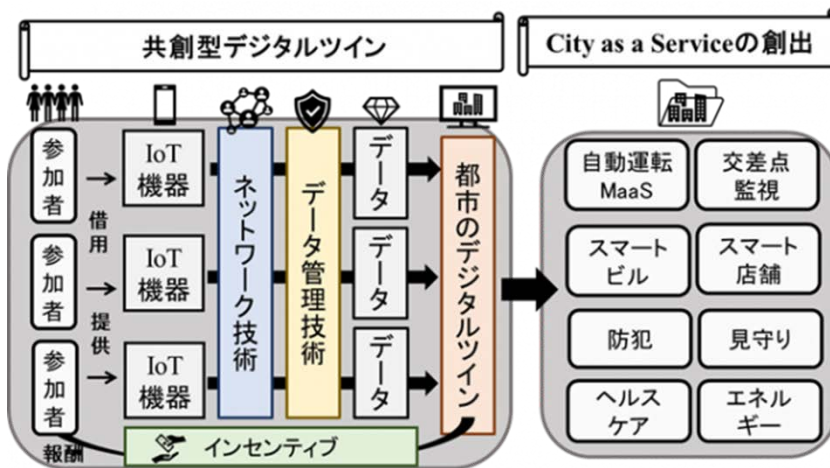
ビーマップ無線 LAN 製品ホームページ/MLTG

<https://www.wi-fi.bemap.co.jp/mltg>

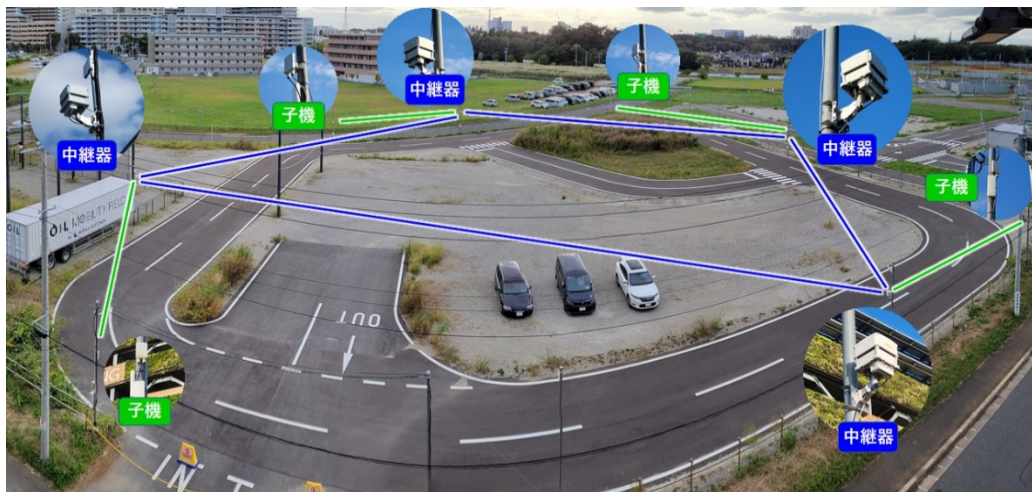
Terragraph 公式サイト
<https://terragraph.com/>

- *3) ミリ波ラボ@柏の葉のプレスリリース
ビーマップホームページ/プレスリリース
https://www.bemap.co.jp/library_file/cms_file/22020100984.pdf

研究プロジェクトのイメージ図



ミリ波ラボ@柏の葉の外観 および 機器配置



- ※ Facebook および Terragraph は、Meta, Inc.の商標です。
- ※ MetroLinq は、Accton Technology Corporation の商標です。

詳細につきましては、弊社担当までお問い合わせ下さい。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ビーマップ ワイヤレス・イノベーション事業部 担当:須田
電話 : 03-5297-2263
お問い合わせフォーム : <https://www.bemap.co.jp/contact/contact.php>

ビーマップは、交通、通信、メディア、流通、外食と
社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。

